

北相第 419 号
平成 20 年 10 月 30 日

国土交通省道路局長 殿

長野県南佐久郡北相木村長 井出玄明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号で依頼のあったこのことについて、
別紙のとおり意見・提案します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県北相木村

様式①

道路特定財源が一般財源化に移行するといえども、「今後も必要な道路は作る」とする方針のもと、費用対効果や地域活力の活性化などを勘案しつつ、地域の熱い要望と現在の交通事情を考慮し財源確保について努力をお願いしたい。

また、できる限りのムダを省き少しでも整備延長を伸ばせるような努力と、当地区における中部横断自動車道の整備区間格上げと早期着工について強く要望するものである。

○現状

当村は唯一の県道上野小海線が、村のほぼ中央を東西に貫き、これが村民の生活に不可欠な生活道路となっているところである。

更には京浜方面に行くには最寄りの佐久 IC まで 1 時間、中京方面に行くには最寄りの IC まで 1 時間とどちらに行っても不便極まりないところである。

生活圏の拡大と地域物流及び経済文化の活性化を図る意味においても中部横断自動車道の早期全線開通を切に願うものである。

○課題

県道上野小海線は、非常にカーブの多い勾配のきつい道路で、12月下旬から4月下旬までは冬期間通行止めとなる路線である。また災害も頻発し台風後などは必ずと言っていいほど通行止めを余儀なくされるといった道路である。県道上野小海線を主要地方道に格上げし、常時安全かつ迅速に通行できる道路整備を期待するところである。

中部横断自動車道については未整備区間において着々と工事が進められている状況ではあるが、八千穂 IC から長坂 IC の間につきましては未だ基本計画区間としてとどまっている状態である。当村のみならず南佐久の各町村が、中央自動車道と上信越自動車道を結ぶ幹線ルートでの早期完成を重要課題の一つとして待ち望んでいるものである。

今後の道路行政についての意見・提案
②-2 地域の目指すべき将来像

長野県北相木村

様式③

当村を含むこて南佐久地方は、中部横断自動車道の完成が図れば、中央自動車道及び上信越自動車道が連携、都心から 100 ～150 キロ圏内の首都圏環状ネットワークを形成するなど、広域的観光ゾーンの形成や産業経済等に大きな活力を生み出すものと期待されている。

更には県道上野小海線を主要地方道格上げ整備し、群馬県との交流圏拡大や長野山梨 3 県にまたがるあらゆる相互連携の基盤となり、拠点となることが十分期待されるところである。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項 (代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項 県道上野小海線の主要地方道格上げ整備 中部横断自動車道早期全線開通	○代表事例	○期待する効果や評価等 群馬県との交流圏拡大や長野山梨3県にまたがるあらゆる相互連携の基盤となり、拠点となることが十分期待される 中部横断自動車道の完成が図れば、中央自動車道及び上信越自動車道が連携、都心から100～150キロ圏内の首都圏環状ネットワークを形成し大幅な時間短縮が図れ、広域的観光ゾーンの形成や産業経済等に大きな活力を生み出すものと期待されている。	○その他 長野県北相木村
--	--------------	--	----------------------------